



林業普及現地情報
2021-10号(通算406号)
令和3年8月19日
沿岸広域振興局農林部
記述者 田島大

釜石・大槌意欲と能力のある林業経営体等勉強会の開催について ～ 一貫作業、低コスト造林技術について ～

1 はじめに

釜石地方では、意欲と能力のある林業経営体の資質向上や、経営体相互の関係強化を図るとともに、情報共有や意見交換等を通じて、地域の林業の課題解決につなげていくことを目的に、令和2年度から、「釜石・大槌意欲と能力のある林業経営体等勉強会(KOI勉)」を開催しています。

今年度1回目の勉強会として、令和3年8月2日(月)に、3事業体から3名、農林部から2名の計5名が参加し、一貫作業施工地の現地視察と低コスト造林技術に係る意見交換を開催しました。

2 勉強会の内容

(1) 現地検討

初めに、令和2年度繰越事業の林業成長産業化総合対策事業で一貫作業を行った大槌町の施工地を視察し、現地検討を行いました。



同施工地は、全木で集材し、末木枝条はバイオマス利用を行うなど、森林資源を有効に活用することも目的としているため、枝条が少なくきれいに片付けられた現場でした。

現地では、実際にかかった費用と補助額に対して、一貫作業を行わず、人力地拵えで再造林した場合の事業費と補助額(森林整備事業)を比較し、一貫作業のコストの低さや補助金の優位さについて情報共有しました。

沿岸地域ならではの課題として、参加者から、シカ被害対策についても活発に意見交換が行われました。

(2) 低コスト造林技術に係る意見交換

現地検討の後、釜石地方森林組合事務所へ移動し、岩手県林業技術センターが作成した資料を参考に、低コスト造林技術についての意見交換を行いました。

参加者からは、ドローンを活用した省力化技術の研究開発や、造林・育林を担う人材育成の大切さについて意見が出されました。



3 今後の対応

沿岸広域振興局農林部では、今後も、事業体の要望を踏まえながら、様々な技術力向上についての勉強会を開催していきます。